仙台高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	保健体育Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	1007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義・実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	総合工学科Ｉ類	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	高橋建夫ほか編著『ステップアップ高校スポーツ』（大修館書店）		
担当教員	東畑 陽介		

到達目標

１．授業で扱われるラグビーフットボール、ハンドボール、バスケットボールの各運動種目の基本技術を習得し、それらの運動を実践できる。
２．ラグビーフットボール、ハンドボール、バスケットボールの競技ルールを理解し、競技を楽しんで実施できる。
３．自らスポーツを創造し、作り出されたスポーツを楽しんで実施できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
汎用的技能	全ての授業に参加し、積極的に活動を行う。	授業に参加し、積極的に活動を行う。	積極的な授業参加を行わない。
判断力・表現力	授業のための準備、各種目の実施、諸注意等への配慮を自ら行うことができる。	授業のための準備、各種目の実施などを教員の指示によってできるようになる。	授業の準備、各種目の実施について、行うことができない。
知識・技能	各種目の技能を正確に実施することができ、他者に適切なアドバイスができる。	各種目の技能を理解し実施することができる。	各種目の技能を理解できず、実施できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 4 技術者として社会的役割や責任を自覚して行動する姿勢

教育方法等

概要	現代を生きる青少年の心身の健康に関わる問題を挙げながら、自らの健康の保持増進に必要な基礎的知識と実践の力を学ぶ。生涯を通した心身の健康の保持・増進に役立つ身近なスポーツに取り組み、それぞれのスポーツの特性を理解する。さらに、自己の身体に対する認識と共に、共に取り組む仲間との協調、対話などによって、社会生活に必要なコミニケーション能力やリーダーシップ能力を身につける。
授業の進め方・方法	スポーツの実践を中心に授業を進めていく。１．各種目の競技特性、歴史的背景、競技の楽しみ方などを説明　２．各種目のルールの理解および技術の習得トレーニング　３．各競技の実施　各種目ごとに以上の順番を基本として授業を行っていく。授業の事前学習として、教科書や動画媒体等を利用し、取り扱われる競技・種目のルールの理解や動き方の理解を進めておくこと。また、事後学習としては、実施した運動課題における自身の改善点等の把握を行い，時事への取り組みの見通しを立てること。
注意点	体育実技は、運動があっての学習であり、ほとんどのスポーツは他者と共通の空間と時間を共有することで成立する。したがって、授業では、十分に周囲の安全に留意しなければならない。授業参加にあたっては、運動着の着用が必須の条件である。運動着でない着衣（革靴やサンダルなどの履物も含む）による授業の参加は認めない。また、履修が認められる範囲での欠課数内であっても、特定の種目への参加が著しく乏しい場合は、補習等の対象とする。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	スポーツテスト（１）	新体力テストを実施する。 全ての実施種目の測定をする。
		2週	スポーツテスト（２）	新体力テストを実施する。 全ての実施種目の測定をする。
		3週	スポーツテスト（３）	新体力テストを実施する。 全ての実施種目の測定をする。
		4週	ラグビーフットボール　ガイダンス	ラグビーの競技特性を理解し、説明することができる。
		5週	ラグビーフットボール　基礎的技術（１）	ラグビーボールを落とさないで走ることができる。 ボールを持って走り、パスすることができる。
		6週	ラグビーフットボール　基礎的技術（２）	ラグビーボールを目標に向かって、蹴ることができる。
		7週	ラグビーフットボール　基礎的技術（３）	オフサイド、ノックオン、スローフォワードなどのルールを理解することができる。
		8週	タグラグビーゲーム（１）	タグラグビーのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
	2ndQ	9週	タグラグビーゲーム（２）	タグラグビーのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		10週	ハンドボール　ガイダンス	ハンドボールの競技特性を理解し、説明することができる
		11週	ハンドボール　基礎的技術（１）	ボールを落とさないでキャッチすることができる。 ３歩のステップとドリブルで移動することができる。 できる
		12週	ハンドボール　基礎的技術（２）	様々な角度からシュートを打つことができる。
		13週	ハンドボール　基礎的技術（３）	コンビネーションを使った攻撃ができるようになる。
		14週	ハンドボール　ゲーム（１）	ハンドボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		15週	ハンドボール　ゲーム（２）	ハンドボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。

		16週	ハンドボール　ゲーム（３）	ハンドボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
後期	3rdQ	1週	スポーツの創造　ガイダンス	スポーツを作り出すことを理解し、班員と協力してスポーツの創造に取り組むことができる。
		2週	スポーツの創造（１）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		3週	スポーツの創造（２）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		4週	スポーツの創造（３）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		5週	スポーツの創造（４）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		6週	スポーツの創造（５）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		7週	スポーツの創造（６）	各班が作ったニュースポーツのルールを理解、仲間と安全にスポーツを行うことができる。
		8週	バスケットボール　ガイダンス	バスケットボールの競技特性を理解し、説明することができる。
	4thQ	9週	バスケットボール　基礎的技術（１）	ボールを落とさないでパスとキャッチすることができる。
		10週	バスケットボール　基礎的技術（２）	ドリブルとパスによる移動ができる。 ゴールに向かってシュートを打つことができる。
		11週	バスケットボール　基礎的技術（３）	反則をせずに相手の攻撃を防御することができる。
		12週	バスケットボール　ゲーム（１）	バスケットボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		13週	バスケットボール　ゲーム（２）	バスケットボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		14週	バスケットボール　ゲーム（３）	バスケットボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		15週	バスケットボール　ゲーム（４）	バスケットボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。
		16週	バスケットボール　ゲーム（５）	バスケットボールのルールに従い、仲間と安全にゲームすることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	汎用的技能	判断力・表現力	知識・技能	合計
総合評価割合	40	30	30	100
分野横断的能力	40	30	30	100